人口と移住
～I.Uターン者を増やすために～

種子島高等学校 2年2組 2班
大迫　里桜／小山田　恵莉
代口　大翔／長野　杏慈

現在行っている政策

現在行っている政策

・西之表市 「交流体験住宅」

★上手くいった点
移住の1歩手前を体験でき、住宅や学校探しができる。

★改善すべき点
誰でも見つけやすいチラシを作る。

現在行っている政策

・中種子町　「定住支援事業」

★上手くいった点
島外に一度出たとしても、Uターン
しやすい環境になった。

★改善すべき点
指定地域の追加。

現在行っている政策

・南種子町　「空き家バンク制度」

★上手くいった点
空き家を貸したい、家を借りたいという需要に答えられた。

★改善すべき点
登録件数が少ない。

3つの市町の共通点

私たちの政策案

私たちの政策案①

・高校生の移住コーディネーターを配置する。

・移住コーディネーターとは
移住を希望する人とコンタクトを取り、案内・相談・支援を行う人。
地域の生活や制度に詳しく移住のサポートを行う。

私たちの政策案②

- **限界集落に情報特化地域を作る。**

  - 情報特化地域とは
    ネットワークを強化した一部地域のこと。

《参考文献》

- 移住コーディネーター(県内各エリア)/移住推進員(都内) - 福島県ホームページ(fukushima.lg.jp)

ご清聴ありがとうございました。